

### 1 学校経営ビジョン（経営哲学）をもつ

- ・どんな公立学校を創りたいのか？（私は「道徳性高揚」でしたが） ・信念ではなく

### 2 危機管理

- ・初動対応が肝（○最適解 △納得解） ・情報精査（事実と私見） ・誠実
- ・地域及びPTAとのつながりを太く ・平和な時も危機

### 3 経営の窓

- ・ヒト、モノ、カネ、時間、情報、ネットワーク ※ 質と量の濃淡が鍵

### 4 生徒指導

- ・新「生徒指導提要」に留意
- ☞ すべての児童生徒の「成長発達を支える」生徒指導（発達支持的生徒指導）への転換

### 5 研修（研究と修養）

- ・発展的解消の趣旨理解を間違えず、校内研修の充実。 ・働き方改革と「やりがい」のバランス

### 6 目指すは「人格の完成」

- ・教師自身の人間力をどう磨き、定着させるか？ 自己研鑽 「教職研修」定期購読
- ・教師は親代わりとするなら、親は子の鏡。 教師の背中からのオーラ（光線）は届くか？

### 7 職員室運営は要

- ・先生方が心身ともに健康で、元気で、明るくて、笑いがよくあふれる空間づくり。
- ・心理的安全性イコール学校風土
- ・職員室以外で仕事をして下さる人たちとの会話（よもやま話）（一人職）

### 8 いじめを生まない学校とするには？

- ・いのち ・人権 ・遊び ・ユーモア ・休憩時間のゆとり ・我以外皆我師 ○徳（陰と陽）

### 9 「人の上に立つ」ために本当に大切なこと21（ジョン・C・マクスウェル）

- ・人格 ・カリスマ性 ・不屈の精神 ・コミュニケーション能力 ・能力 ・勇気 ・洞察力
- ・集中力 ・与える心 ・独創性 ・聞くこと ・情熱 ・前向きな姿勢 ・問題解決力
- ・対人関係能力 ・責任 ・心の安定 ・自己規律 ・奉仕の精神 ・学ぶ心 ・ビジョン

#### ◆「最後に（228P）」より

ロバート・ウッドラフは1923年から55年まで、コカコーラの社長を務めた。彼は会社が負担するコストを度外視して、世界中にいるすべてのアメリカ軍兵士に5セントでコカコーラを提供したいと考えた。なんという大胆な目標だろうか。しかし、彼が心の眼で見ていた大きなビジョンと比べると大したことはなかった。彼は自分が生きている間に、世界中のすべての人びとにコカコーラを味わって欲しいと思ったのだ。

あなたは自分の内面の奥深くにあるビジョンを見つめるとき、いったい何が見えるだろうか。

### 10 校長の代理・代行（全ては、子どものより良き成長（幸せ）のために。立ち位置が違うだけ）

- 管理職の魅力 ○温故知新（発信・地域協働・情報処理） ○学而不厭 ◎心身の健康に尽きる

◆迷惑ばかりかけて、周りに活かされてばかり。でも思返しする心は忘れません。では、これにて。